

議員（門 秀俊）

お早うございます。

2番 門 秀俊、一般質問をさせていただきます。

イノシシ捕獲対策のその後についてお伺い致します。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、5月から6月にかけて島嶼部への渡航自粛を促した影響で、高見島及び佐柳島への観光客が減少し、島嶼部では近年にない静かな日常となりました。その後は、G o T o トラベル等の影響により、島嶼部への観光客も徐々に戻りつつあるようです。しかし、来島者に島を楽しんで頂く、また島民が安心して暮らしていくためには、島内で過ごす間の安全を確保しなければなりません。その安全を確保するためには、火災や犯罪への備えはもちろんのことですが、イノシシ等の害獣による人的被害等への備えも必要であると思います。猟友会によるイノシシ駆除は、同感染症感染拡大に伴う渡航自粛によりしばらく見合わせていたようですが、6月から捕獲駆除が再開され、イノシシ被害に対する島民の不安が僅かながら減少したとの意見もあり、安心しているところです。

さて、本年3月定例会の私の一般質問に対する答弁の中で、今後のイノシシ捕獲頭数を増やすための対策として、1.ワナ管理用センサーを設置する、2.多度津高等学校が低コスト管理型箱ワナの試作を検討している、3.イノシシ被害のある各地区においてイノシシ講習会を開催し、地元住民の協力を受けられるよう検討するとありましたが、その後行われた対応について、また同感染症感染拡大の第3波と言われてる過程で、再び島嶼部への渡航自粛になった際のイノシシ駆除の対応についての4点を質問します。

1点目、ワナ管理用センサーの設置状況についてお伺い致します。

産業課長（谷口 賢司）

お早うございます。

門議員のワナ管理用センサーの設置についてのご質問に答弁をさせていただきます。

今年度に整備するワナ管理用センサーにつきましては、猟友会が島嶼部に設置しておりますくくりワナに設置することを目的としておりました。しかし、ご質問の中でご指摘されておりますように、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、5月から6月にかけて島嶼部でのイノシシ捕獲を自粛していたため、設置することができない状況でございました。その後、島嶼部での捕獲が再開されたことから、9月にセンサーを10台、受信機を3台購入し、現在はセンサー等の管理機器を作製中でございます。

なお、猟友会への貸出しは、12月下旬、今月下旬を見込んでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

再質問を行います。

購入したセンサーが10台ということですが、本町には高見島と佐柳島の2島があるため、10台では少ないと思うのですが、今後の計画を教えてください。

産業課長（谷口 賢司）

門議員の再質問にお答え致します。

ワナ管理用センサーは、まずは島嶼部への中心に設置し、その後、奥白方地区や見立地区等への陸地部への設置も見込んでおりますので、今後も追加して整備していきたいという風に考えてございます。

以上、答弁と致します。

議員（門 秀俊）

それでは、2点目。

多度津高等学校の低コスト簡易型箱ワナの試作の進捗状況についてお伺い致します。

産業課長（谷口 賢司）

門議員の多度津高等学校の低コスト簡易型箱ワナの進捗状況についてのご質問に答弁をさせていただきます。

低コスト簡易型箱ワナは、本町と多度津高等学校が締結している包括的連携、協力に関する協定書に基づき、同校建築科の有志生徒により製作され、その様子は9月17日付の四国新聞の記事で紹介されてございました。同箱ワナの製作に当たっては、島根県中山間地域研究センターが作成した低コスト簡易型箱ワナ設計書を参考に、市販品の箱ワナよりも低コストで、軽量化を図り、比較的手軽に山間部や島嶼部へ運び、設置することを目的として取り組まれました。同箱ワナの実証実験は、猟友会の協力を得て奥白方地区で実施され、くくりワナで捕獲されたイノシシ及び別の箱ワナで捕獲されたイノシシを、同箱ワナにそれぞれ1日間、計2日間入れて強度等の検証を行いました。その後、同校において、最後の確認作業を行う見込みとなっております。今後は、安全性が確認された後、同校に数台の箱ワナの製作を依頼し、住民から要望のあった箇所へ設置することにより、イノシシ駆除に努めたいと考えてございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

再質問を行います。

多度津高等学校の箱ワナ製作について、経緯をもう少し詳細に教えて下さい。

産業課長（谷口 賢司）

門議員の再質問にお答え致します。

町が多度津高等学校に箱ワナ製作の相談を行ったのは、本年1月でございます。それを受け、同校建築科の有志生徒が、2月15日に1台目の箱ワナを試作しました。その箱ワナを丸亀地区猟友会のメンバーに検証して頂き、改良箇所や補強箇所等の意見を聴取しました。その後、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校のために、研究が滞っていましたが、7月17日に既存の箱ワナで捕獲されたイノシシの状況を同校の教諭及び生徒に見学してもらい、第1回目の箱ワナの補強箇所等を協議する参考として頂きました。そして、8月23日に島根県中山間地域研究センターが作成した低コスト簡易型箱

ワナ設計書を参考にして、2台目の箱ワナが製作されました。同箱ワナを香川県中讃農業改良普及センター職員の立会いの下、町職員が奥白方地区の遊休農地内に設置し、先ほどの答弁にございますイノシシ捕獲の検証に繋がっているということでございます。以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

再質問をさせていただきます。

先ほどの答弁の中で、猟友会の協力を得て奥白方地区で実証実験を行ったとありましたが、その実験に利用したイノシシはどちらの猟友会が捕獲、提供してくれたものですか。また、強度を確認するために、ある程度の大きさは必要だと思いますが、イノシシの大きさはどの程度だったか教えて下さい。

産業課長（谷口 賢司）

門議員の再質問にお答え致します。

先ほどの答弁で申し上げました、くくりワナ及び箱ワナで捕獲されたイノシシの提供をして頂いたのは、善通寺地区猟友会のメンバーの方々でございます。また、そのイノシシの大きさでございますが、1頭目が約40キログラム、2頭目が60から70キログラムと、中型から大型のイノシシを利用しましたので、強度を確認するには適当であったという風に考えてございます。

なお、同実験には、多度津高等学校の担当の教諭も立ち会って頂いております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

3点目の質問をさせていただきます。

イノシシ講習会の開催状況についてお伺い致します。

産業課長（谷口 賢司）

門議員のイノシシ講習会の開催状況についてのご質問に答弁させていただきます。

昨年度、白方地区におきまして開催致しましたイノシシ講習会では、同地区の方々から多くのご意見を頂きましたので、今年度は島嶼部での開催を計画し、7月に島民の方々を対象とした事前アンケートを実施して、講義内容の検討まで行っておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でやむなく中止となりました。白方地区また四箇地区の一部におきましては、来年度2月開催を目途に計画を進めているところでございます。

なお、イノシシ以外の有害鳥獣に係る講習会として、県主催の香川県アライグマ・ヌートリア防除従事者養成講習会が、12月12日に開催予定でございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

4点目、島嶼部への渡航自粛が実施された際の、イノシシ駆除の対応についてお伺い致します。

産業課長（谷口 賢司）

門議員の島嶼部への渡航自粛が実施された際の、イノシシ駆除の対応についてのご質問に答弁をさせていただきます。

5月に実施された島嶼部への渡航自粛に伴い、猟友会メンバーも島嶼部での捕獲駆除を自粛するため、全てのくくりワナを外しておりました。この結果、イノシシの民家付近への出没や、家庭菜園の食害などが増加したようでございます。島民の方々からは、渡航自粛期間中でもイノシシの捕獲駆除はお願いしたいとの要望もございましたので、仮に渡航自粛措置が取られた場合でも有害鳥獣捕獲は実施できるよう、地元自治会及び猟友会と協議を行いたいという風に考えてございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

再質問を行います。

島嶼部への渡航自粛が行われたとしても、有害鳥獣の捕獲駆除は行いたいところですが、これまで同様の体制では、増加したイノシシ捕獲に対応し切れないでしょうか。捕獲人員の増強や猟友会との連携についても見直さなければなりません。また、捕獲奨励金の見直しも検討する必要があると思いますが、いかがでしょうか。

産業課長（谷口 賢司）

門議員の再質問にお答え致します。

本町では、島嶼部のみならず、白方地区や四箇地区の一部でも、イノシシ被害が多く見られるようになってきてございます。本町では、住民の生命と財産を守るためにも、捕獲者の増員等は喫緊の課題であると考えてございました。本年、8月17日に善通寺地区猟友会会長より、本町在住の住民から田畑のイノシシによる食害がひどくなっているとの駆除をお願いしたいという依頼があったため、本町内でも有害鳥獣駆除を行いたいとの申入れがございました。

本町では、これまで丸亀地区猟友会のメンバーの方々に同駆除を依頼しておりましたが、多くのメンバーの方々のご協力を得たいと考えまして、9月24日に両猟友会会長と協議の場を設けて意見交換を行いました。その後、善通寺地区猟友会のメンバーの方々にも町内での同駆除を行うことができるように、10月1日付で有害鳥獣捕獲許可証を交付致しました。

また、捕獲奨励金につきましては、県下一律でイノシシの成獣は1頭当たり1万円となっております。本町の場合は陸地部は1万円でございますが、島嶼部は1万5,000円となっております。このため、現状では奨励金の見直しを図ることはないのではないかとこのように考えてございます。しかし、今後も他市町の状況を注視してまいりたいと考えてございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

イノシシによる被害情報は、陸地部、島嶼部に関わらず耳に入ってまいります。これまでは、農作物の食害や人家への石垣の掘り起こしなど物的被害に止まり、人的な被害がなかったことから、日中の警戒が少なかったように思います。しかし、先ほどの西港町の事案や、高松市街地や丸亀市街地でのイノシシ被害等考えますと、これからは日中の対策や広報活動も必要になってくると思います。今後も適正なイノシシ駆除を行うとともに、住民への周知活動にも取り組んでほしいと要望致します。

続きまして、質問させていただきます。

新庁舎の起工式も終え、庁舎建設工事も本格的に進み出しているのを楽しみに拝見させて頂いております。多度津駅付近は、今からどんどん進化していくと思います。また、現在工事中の跨線橋へのエレベーター設置工事もかなり進んでおり、利用者も完成を待ち望んでいるのではないかと思います。そこでお伺いします。

1 点目、エレベーター設置工事前に、令和元年度に実施した幸見通り跨線橋の通行量調査の結果、跨線橋を利用した東西横断者数はどうであったかお伺い致します。

政策観光課長（河田 数明）

お早うございます。

門議員の幸見通り跨線橋の通行量調査についてのご質問に答弁をさせていただきます。

現在、多度津駅周辺地区において実施しております都市再生整備計画事業では、整備の効果を図る指標として、多度津駅周辺地区における東西横断者数を定めており、各種の賑わいに資する事業を組み合わせることで、その数値の維持を図っていくことを計画しており、平成29年11月にはその目標値を検討するため、東西横断者数に関する交通量調査を実施した上で、事業に着手しております。本年2月に実施致しました幸見通り跨線橋での交通量調査につきましては、議会からの緊急避難路として整備した跨線橋完成後の検証をすべきとのご指摘もあったことから、都市再生整備計画事業の中間的な検証及び現在施工中のエレベーター設置に対する検証を行うため実施したものでございます。

交通量調査の概要としましては、平成29年度調査並びに本年2月の調査ともに、平日から休日の連続した7日間、時間帯については午前5時から翌1時の20時間で実施しております。

次に、調査結果と致しましては、平成29年度調査では1日平均800人であったのに対して、本年2月の調査では、1日平均710人でした。

跨線橋を横断する1週間の総通行量で比較致しますと、平成29年度調査が約5,700人であったのに対して、本年2月の調査では約5,000人であり、約12%の減少となっております。しかしながら、本年2月の調査期間中に、荒天によるJR瀬戸大橋線の運転見合せがあり、ダイヤに大きな乱れが生じたこと。また、鉄道輸送統計月報では、11月期に比べて2月期は鉄道利用者が13%減少する傾向があること、並びに本年2月の初め頃から、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大の兆しを見せ始めたことで、JR利用

者が前年同月比で86%ほどに減少しているなど、これらの外的減少の要因を踏まえ、通行量の変化を総合的に考察致しますと、平成29年度に実施した事業開始前調査に対しまして、新跨線橋ができた後の本年2月の調査では、調査時期、天候及び新型コロナウイルス等の影響を受けない状況下での通行量は若干増加をしているものと推測しております。今後、多度津駅周辺地区都市再生整備計画事業が終了致します令和4年度末に、国の補助を財源と致しまして通行量調査を含めた事後評価を実施することで、事業の効果についてPDCAサイクルによる検証を行う予定としております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

2点目、幸見通り跨線橋は、旧の跨線橋の耐震性が乏しく、危険なため建て替えました。危険な状況の旧跨線橋の撤去時期と、その手法についてお伺い致します。

建設課長（三谷 勝則）

お早うございます。

門議員の旧跨線橋の撤去の時期とその手法についてのご質問に答弁をさせていただきます。旧跨線橋の撤去については、撤去に関する工法、工事等のスケジュールをJR四国と協議を進めているところでございます。また、旧跨線橋には、JR四国所有の施設である信号機などが添架されていることから、JR四国の設備については跨線橋の撤去工事に伴う施設の保護、移設及び撤去を依頼しており、現在JR四国において協議を進めていると聞いております。撤去工事はJR施設の事前移設完了後になることから、JR四国に対し早期対応をお願いしているところでございます。今後は、撤去工事に伴う保護、移設等に要する期間など協議を進めていきたいと考えております。また、撤去工事は、橋梁本体を分割し、クレーンにて吊り上げる工法を計画しておりますが、工事は軌道内、軌道上での施工となり、JR四国の受託工事となることから、引き続き旧跨線橋の早期撤去に向け準備を進めてまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

3点目、幸見通り跨線橋とそれに繋ぐエレベーターの総費用はどれぐらいですか、また、その事業内容についてお伺い致します。

政策観光課長（河田 数明）

門議員の幸見通り跨線橋とそれに繋ぐエレベーターの総費用及び事業内訳についてのご質問に答弁をさせていただきます。

幸見通り跨線橋につきましては、平成27年度から平成29年度の3年間で、JR四国の受託工事により整備を行い、総事業費と致しましては約8億8,600万円でございます。その事業費の内訳と致しましては、調査設計業務及び詳細設計業務委託料で約4,500万円、工事費で約7億8,800万円、補償費で約4,700万円、用地取得費で約600万円でございます。

次に、エレベーター設置工事につきましては、現在工事が施工中であり、最終的な金額は確定しておりませんが、現時点での総事業費と致しましては、約2億7,700万円でございます。その事業費の内訳と致しましては、予備設計業務委託料及び実施設計業務委託料で約2,100万円、整備工事費で約2億4,800万円、工事監理業務委託料で約500万円、用地取得費で約300万円でございます。また、エレベーターの詳細な工事内容と致しましては、車椅子対応で、かつ自転車利用も可能な26人用エレベーター2基の設置工事及びエレベーター棟の建築工事、多度津駅側における西側エレベーターと幸見通り跨線橋を繋ぐ通路部分の整備工事の構成となっております。それぞれの工事費と致しましては、エレベーター2基の設置工事で約7,100万円、エレベーター棟の建築工事で約1億1,200万円、通路部分の整備工事で約6,500万円となっております。

最後に、今回のエレベーター設置工事の総事業費に対する財源と致しましては、先ほどお伝えしましたとおり、当該事業は社会資本総合整備交付金を活用した都市再生整備計画事業の一つとして整備を進めており、事業費に対して約45%の交付金が適用されることから、現時点では交付金約1億2,400万円、公共事業等債約1億3,800万円、一般財源約1,500万円を財源としております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

跨線橋の利用者は色々な年代の方が利用してる状況です。エレベーターは、いつ頃の完成を予定しているのでしょうか。

政策観光課長（河田 数明）

門議員のエレベーターは、いつ頃の完成を予定しているのかのご質問に答弁をさせていただきます。

整備を行っております跨線橋エレベーター設置工事の現在の進捗状況は、エレベーター本体の設置工事及びエレベーター棟の建築工事がおおむね完了しているところでございます。当初、令和2年12月末の完成を目指して進めているところではありましたが、西側エレベーターと跨線橋を繋ぐ通路部分の手すりの製作を行っている工場の生産ラインにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、製作に大幅な遅延が生じ、工事期間内での製品の納入が間に合わないとの報告が工事受注者を通じてありました。それにより、工期延期を余儀なくされたことから、現時点での完成予定と致しましては、令和3年2月中旬となるものと考えております。議員がおっしゃられますとおり、幸見通り跨線橋は現在、子供からお年寄りまで様々な方にご利用頂いておりますので、少しでも早くエレベーターを完成し、皆様にご利用頂けますよう工事を進めてまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

5点目、多度津町駅周辺においては、エレベーター整備とは別に駅前広場などの整備を予定していると思いますが、どのような方法で計画を検討しているか、お伺い致します。

す。

町長（丸尾 幸雄）

門議員の駅前広場などの計画をしていると思うが、どのような方法で計画を検討しているのかのご質問に答弁をさせていただきます。

多度津駅前広場等の整備につきましては、今年度より基本計画及び基本設計業務を行っているところであります。当該業務につきましては、平成29年に制定された多度津駅周辺の活性化に関する条例に基づき、令和2年3月に議会の議決を得て策定された多度津駅周辺開発整備等推進計画の中で示されております整備方針や活性化策などの方向性を踏まえながら取り組んでいるところでございます。その業務を進めるに当たっては、推進計画の策定と同様に、町民の方々の意見を反映するために町内の建設関係有識者、まちづくりに関わる民間の方、また多度津高校の先生など民間からの5名の方々と、町職員の中から若手職員5名との、合計10名による官民が連携した構成で、多度津駅周辺地区駅前広場デザイン会議を開催し、検討を行っているところでございます。

そのデザイン会議の検討内容につきましては、推進計画の理念を基とし、駅及び駅周辺における利便性の向上はもちろんのこと、多度津駅周辺の賑わいづくりのために必要な機能やデザイン、また駐輪場を含めた施設の配置などについて多くの意見を頂いているところでございます。今後、デザイン会議での意見を取りまとめながら、町民の方々はもちろんのこと、町外から訪れた方にとっても多度津駅周辺が交流や賑わいを生むような魅力ある質の高い空間となりますよう、今後も当該業務に取り組んでまいりたいと考えております。

なお、駅前広場等の整備概要につきまして取りまとめが出来次第、遅滞なく議員の皆様にご報告をさせて頂くことを考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

有難うございます。今後、エレベーターが完成し、駅前広場などの整備を行うことにより、歴史ある多度津駅を含め、駅周辺が色々な世代の方によって、より便利で、賑わいのある魅力的な空間となるよう期待しています。

以上で一般質問を終わらせて頂きます。